

**「IC旅券用プロテクションプロファイル調査」報告書の公開について**  
～次期 IC 旅券のセキュリティ要求仕様の明確化に向けて～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：西垣 浩司）は、このたび、次期 IC 旅券のセキュリティ要求仕様を明確にするための調査を行い、その調査結果を IC 旅券用プロテクションプロファイル及び IC 旅券用プロテクションプロファイルの解説書として、IPA の Web サイト上で公開しました。

URL : <http://www.ipa.go.jp/security/fy20/reports/epassport/index.html>

IPAセキュリティセンターでは、世界各国が進めている次期IC旅券の開発を踏まえ、そのセキュリティ要求仕様を明確にするためのIC旅券用プロテクションプロファイル（Protection Profile、以下PP）<sup>1</sup>及び、IC旅券用PPの解説書を作成しました。現在、我が国のIC旅券は、国際民間航空機関(ICAO)<sup>2</sup>が策定したIC旅券の国際標準で必須とされているデータ改ざん防止機能（受動認証：Passive Authentication）とオプションである盗聴防止機能（基本アクセス制御：Basic Access Control）を備えていますが、新たにクローン防止機能である能動認証（Active Authentication）が追加される可能性があります。また、日本以外に、オーストラリアやニュージーランドでも、この能動認証の検討を進めています。

本調査結果が、将来的には調達者による具体的な要求仕様作成や日本および海外のベンダーの次期 IC 旅券の基本仕様作成時に参照され、安全かつ迅速な開発を助ける共通的な仕様となることを期待します。

## 調査内容

本調査では、現在の IC 旅券のセキュリティ機能に、クローン防止機能として能動認証（Active Authentication）を追加した次世代 IC 旅券のためのセキュリティ機能及び使用環境の要件を調査し、その調査を元に次世代 IC 旅券用 PP を作成しました。また、PP で求められる情報としては記述されない IC 旅券基本仕様開発のための注意事項、その他 IC 旅券開発に有用な情報を PP の解説書としてまとめました。

## 【IC 旅券用プロテクションプロファイル】

1. PP 概説
2. 適合主張
3. セキュリティ課題定義
4. セキュリティ対策方針
5. 拡張コンポーネント定義
6. セキュリティ要件
7. 用語
8. 参考文献

<sup>1</sup> 特定の製品分野において要求される典型的なセキュリティ要件を想定したセキュリティ基本設計書のひな型。製品開発時に、その製品分野の PP を元に個別製品特有の仕様の反映を追加することで、ISO/IEC 15408 が規定したセキュリティターゲットと呼ばれるセキュリティ基本設計書の作成が容易となる。

<sup>2</sup> International Civil Aviation Organization。国際航空に対し、関連施設や規則・手続きなどの国際標準や勧告の採択を行う国連の専門機関。

## 【IC 旅券用プロテクションプロファイル解説書】

1. はじめに
2. PP の特徴
3. PP の利用方法
4. EAL
5. PP 主張
6. TOE について
7. セキュリティ課題定義
8. セキュリティ機能要件
9. その他
10. 参考文書

「IC 旅券用プロテクションプロファイル調査」の報告書は、以下の URL をご覧下さい。

<http://www.ipa.go.jp/security/fy20/reports/epassport/index.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

IPA セキュリティセンター 山里／渋谷

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: [jisec@ipa.go.jp](mailto:jisec@ipa.go.jp)

■ 報道関係からのお問い合わせ先

IPA 戦略企画部 広報グループ 横山／大海

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: [pr-inq@ipa.go.jp](mailto:pr-inq@ipa.go.jp)